



# ゆうすい 議会だより

12月定例会

平成27年2月17日発行 第41号



**雪と戯れる子供たち(吉松小)**

## 主な内容

一般会計補正予算等・・・P2

一般質問・・・・・・・・・・P4

議決一覧・・・・・・・・・・P10

## 個別予防接種 委託料

10月より予防接種法の改正により、高齢者肺炎球菌及び水ぼうそうが定期予防接種となったことに伴う委託料です。



## 農地台帳システム 改修委託料



農地法の改正により、農地台帳と地図を公表することになり、公開される法定項目に、新たに農地中間管理権を入れるためのシステム改修委託料です。

## 多面的機能支払 交付金

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するための交付金です。



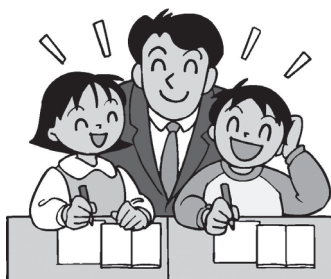
京田1号線

## 急傾斜地崩壊 対策工事費

北方地区の人家裏の崖崩れ災害が、県の事業採択となったことに伴う工事費です。



## 教材備品購入費



平成27年度からの教科書採択替えに伴い、デジタル教科書等を導入するための備品購入費です。

## 土地区画整理事業 建物等補償費

土地区画整理事業における仮換地指定の区域を広げ建物等報償を先行させるための計上です。



栗野地域

# 平成26年 第4回定例会

一般会計補正予算 3億170万1千円可決



総額 70億6815万円に

第四回定例会は11月28日招集され、12月17日までの20日間の会期で開催されました。

今定例会では、衆議院議員選挙に伴う予算の専決1件、平成26年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の補正予算、国民健康保険条例の一部改正や、子ども・子育て支援法に基づく新規条例の制定など、全部で、承認1件、議案15件について審議を行い、可決しました。

一般質問では、議員6名が10項目について質問しました。

## 財政調整基金 積立金

経済事情の変動等により財源が不足する場合や災害により生じた経費の財源又は災害等により生じた減収を埋めるための財源としての積立金で、平成25年度決算に伴う繰越金の一部20%相当額の増額です。

## 減債基金積立金

町債の償還及び町債の適正な管理に必要な財源を確保し、将来にわたる財政の健全な運営に資するための積立金で、平成25年度決算に伴う繰越金の一部40%相当額の増額です。

## 橋梁改築整備 基金積立金

改築又は整備される町内の橋梁架替事業に関し、円滑かつ適正な実施のために必要な財源を確保するための積立金で、平成25年度決算に伴う繰越金の一部10%相当額の増額です。

# を問う!

## 人口減少時代への対策は

様々な角度から検討します。



池上 滝一 議員

### 池上

合併以後の本町の人口動態を観察すると、毎年200人前後の人口減少が顕著な状況である。地方都市では同じような状況であるが、本町においても、これまで国や県の出

先機関の閉鎖や誘致企業の撤退及び事業縮小がなされたことによる人口流失、減少は看過できない状況であると察する。この事態を解消するための対策として、日本創生会議が示した内容をもとに国が打ち出した新交付金を活用するため、庁舎内に専属的に研究・検討する人口減少対策委員会等を設置すべきと考えるが。

### 町長

国の「まち・ひと・しごと創生法」が本年

11月21日に国会で成立しました。この法案は、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保していくため

のものであります。市町村においては、人口減少対策や地域における就業機会の創出など、市町村版の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を検討することとなっており、本町においてどのような計画が立てられるか、様々な角度から検討します。

### 小・中学校の出前授業について

### 池上

本町の小・中学校においては、様々な出前授業が実施されていると思うが、これまで実績と効果及び今後の取り組みについて伺います。



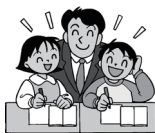
### 教育長

町内すべての学校が毎年、行政機関や大学、企業等から職員を派遣してもらい

数回実施しており、働くことの喜びや苦勞を知り、感謝の気持ちを育成できるなど、すべての学校が出前授業を意義あるものとして捉えている状況であります。今後においては、地域の人材活用も積極的に奨励していきたいと考えます。

### 池上

授業種別メニューが多ければさらに効果が出ると勘案する。講師依頼の広報をさらに強化すべきでは。



### 教育長

現在、町内の48名の方々が講師として登録されています、今後も学校だより等を活用して、取り組みを進めて参ります。

●その他の質問 湧水町イメージガールの登用について。

ここが知りたい!!  
ここが聞きたい!!



## 県立栗野工業高校跡地利用について

スポーツ合宿拠点施設として県に要望して参ります。

吉永 義和 議員

吉永

先の新聞報道で高校跡地に大隅地域の

スポーツ合宿の拠点となる施設の新設が明らかになり、今年3月末で閉校する県立高校跡を、合宿拠点施設として整備する基本計画を県がまとめておりますが、その中で一線で活躍する選手も受け入れ、県内で増えつつあるスポーツ合宿をさらに増やすことを目指しております。

栗野工業高校跡地利用については、平成21年度閉校して5年経過するなかで、今まで企業誘致活動を県と連携しながら行っておられますが、経済情勢の悪化等により実現に至っていないのが現状であるようです。

5年間の経過を見て今後の企業誘致は難しいと察することから、又議会主催の住民と語るう会を過去3回実施しておりますが、その中で毎回のこの跡地有効利用についての意見が出ております。

そこで、跡地利用については、景気に左右される企業誘致だけの考え方だけでなく、健康増進及び

交流人口増加の観点から、更には、県境の町としての利点を活かし、南九州地域のスポーツ施設の拠点として、活用できれば、本町にとっても多大な効果が見込まれることから、関係機関と協議・検討を行い、推進すべきと考えるが町長の見解をお伺いします。



町長

県立栗野工業高校は、鹿児島県の高校再編により平成22年3月をもって閉校となり、これまで鹿児島県とともに企業誘致を主として取り組んで参りました。

跡地利用に関する企業等からの問い合わせはあるもの、企業の進

出には至っていない状況であります。

指摘がありましたように、鹿児島県においては、他の県立高校跡地をスポーツ合宿の拠点施設として活用する計画もなされており、企業誘致のみならず様々な検討がされているようであります。

本町としても、引き続き企業誘致活動を行い、スポーツ合宿拠点施設についても検討していただけるよう鹿児島県に要望して参ります。



栗野工業高校跡地

○その他の質問 行政改革について。

## 小中学校の土曜日の授業について

教育活動の内容及び計画を検討していきたい。



境田 公明 議員

**境田**

小中学校における土曜授業の導入について、一部報道がなされましたが、今後のゆとり教育の見直しの中で、本町教育委員会として土曜授業の導入について、どのように考えているのか伺います。

**教育長**

平成14年度から完全学校週5日制が実施され一定の成果が見られますが、一方で豊かな体験活動が不足しているとの課題も指摘され土曜授業に関する県からの方針は、現在のところ文書として出されておられません。町教育委員会としては、基本的には県の方針を踏まえ対応していく方針です。そこで児童生徒を取り巻く社会環境や土曜日の過ごし方の実態を考慮すると、より充実した教育活動を実施することや、学力向上を目指した集中的な補充・発展指導を行うなど、土曜日を有効活用することにより教育

活動全体にゆとりが生まれ、学校教育における様々な課題に対応できるものと考えます。今後、県の動向に注目しながら土曜授業を導入するに当たつての教育活動の内容及び計画を検討していきたいと考えております。

**境田**

土曜授業の導入は、地方自治体の判断で実施できるということですが、湧水町独自の考えで学力向上等のため土曜授業の導入を教育委員会で議論はされているのか伺います。

**教育長**

定例会の中で土曜授業については検討をしていますが、義務教育の中で、制度的にはできるが、隣接の市町と連携を取りながら、また町独自の考え方を活かしながら導入を進めていきたい。

**境田**

週5日制のゆとり教育として地域行事の参加など本来の目的もあったが、それらのものも含めて土曜授業のあり方、勉強だけでない地域で育てようなものを取り入れる考えはないのか伺います。

**教育長**

学力向上のための時間を取ることができたり、地域人材の活用で郷土芸能や体験授業を通して地域との連携をとることができると思います。また今まで削ったスケッチ大会等の行事の復活なども考えられます。



授業で種イモの保存を指導する農家さん



## 町道等の支障木等の整備について

自治会からの申請等に基づき対応し行います。

西牟田 徹也 議員

西牟田

町道等の環境整備については、建設作業班を中心に計画的に行っているが、町内一円整備が追い付かない状況である。今後、支障木等の環境整備について伺います。



支障木等が目立つ町道

町長

これまで各自治会において、道路愛護作業をお願いしておりますが、対応できない支障木等については、申請に基づき、地権者の同意が得られたもののみ対応しております。

西牟田

合併後十年が経過するが、吉松地区町道川

添線や下中津川線等においては、

道路幅も狭く舗装面も経年劣化とともに損傷が目立つが、年次計画による改良事業などの整備状況はどのように考えているのか伺います。



町道下中津川線の現状

町長

過疎計画と村づくり実践方策に基づいて実施しておりますが、災害が予測される場所並びに道路本体の損傷のある場所については、計画変更する場合もあります。本年度から道路ストック総点検の調査結果を基に過疎計画と村づくり実践方策との整合性を図りながら整備を進め

て参ります。

消防活動二輪車、通称、赤バイの導入について

西牟田

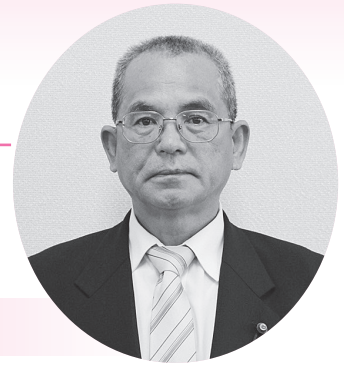
本町のような中山間地域においては、特に消防車両の入りにくい原野火災や風水害等、また、いつ何時、発生するか定かでない地震等、いち早く現場に急行して、初動体制が行える消防二輪車を導入し活用する考えはないか伺います。

町長

各種災害に対応するため消防活動二輪車の活動は、二輪車の機動力を発揮することは理解します。しかし、現消防団員の状況から二輪車専属団員を養成することは免許取得の観点や技術的指導が難しく、現段階では導入については考えておりません。

## 町長の職務について

### 職員を指揮監督する立場



宮里 廣昭 議員

**宮里**

町長の給料の20%の減額を加え、平成26年11月から任期終了年度の平成29年3月までの期間、給料の額を30%減額されましたが、30%減額に至った理由をお伺いします。

**町長**

自分の人生の終末まで、いつも忘れることの出来ない方法を取りたいと、そして、町に対して、すまない気持ちをもちたいという事を申しました。職を退いても忘れることの出来ない方法をとりたいという事で30%とし、自分の任期いっぱい、それを根拠にしてここまでしなければ私自身の気持ちがおさまらないので、30%という数字を作りました。

**宮里**

事件を起こした元職員の本人及び家族とこれまで、町長の職務として何回接見をされたのか伺います。

**町長**

本人及び家族とそれぞれ2回面会をしております。それ以降については、職員に指示し、ご家族と接見させ、しっかりと対応させております。

**宮里**

自宅に行かれて相談されたわけですか。

**町長**

自宅の方にも行って家族みんなに集まってもらい、私の方で説明し、後の処理をしっかりとしてくれと、本人もそうなんですが家族というものがありませんよと話をしております。また、私の家にも来られましたので、私の家には二度と来てくれるなど言いました。

**宮里**

平成26年3月18日に職員による不祥事があったようですが、どのような内容なのか伺います。

**町長**

私生活で第三者とトラブルがあり、現在、警察が捜査されているようです。私としては、現在のところそういう答弁しかできません。

**宮里**

町長、平成26年3月18日、午後11時45分頃ですよね。丸池タウンのある宅の脱衣室の窓を開けて、奥さんがいるところを覗いたと、窓を開けて覗くと、見られた方は、町長、大変なことなんです。

**町長**

まだ全容が私自身分かっておりませんので、今日はそういう答弁をさせていただきます。





## いじめの把握と対応を問う

### 複数の教師の目でいじめを把握し指導

森山 マスミ 議員

**森山**

近年の「いじめ」は生きる力を奪うなど深刻化している。本町の小中学校における「いじめ」の現状把握と対応について伺います。

**教育長**

全教職員が日常の観察や情報収集に努め、無記名アンケートを行い、実態を把握して、教育相談やスクールカウンセラーで、いじめの対応に当たっています。

**森山**

無記名アンケートで真実が把握できるのか。調査や協議に時間を費やすことは、隠ぺいと同じで、加害者を増やさせるのではないか。

**教育長**

無記名だから立場の弱い被害者、傍観者ともに実態をストレートに書き得ると考えています。

**森山**

黙認や隠ぺいは加害者を増長させ悲惨な事案を生む。いじめで重要なことは

真の生きる力を養い、命を守る教育ではないのか。

**教育長**

学校によっては人権週間を設け、教育相談を実施し、PTAでは習慣的に、いじめ問題を考えるよう道徳の授業参観をしています。

**森山**

携帯、スマホなどによるいじめがよく報じられる。本町小中学校の所持率は県平均より少し多い状況。この件の取り組みは。

**教育長**

情報機器のモラル教育は家庭で行うのが大事。しかし、携帯やスマホの扱い方、使用について教育委員会として全校に継続的取り組みをお願いします。

**森山**

児童生徒が思春期問題を乗り越える上で性教育には大きな問題がある。心と体の成長に関する教育方針を問う。

**教育長**

県教育委員会編集の「大人への道しるべ」を用いて、集団指導と個別指導に取り組んでいます。

**森山**

性情報の氾濫がすさまじい中での取り組みは重要。指導を土曜授業でやれないか。

**教育長**

全小中学年に対し土曜授業として実施できません。

**森山**

青少年健全育成は、町全体で取り組むべきもの。町教育委員会のいじめや性教育に関する見解は、地域住民への啓発に役立つ。講演会や討論会を実施されたいが考えを伺う。

**教育長**

外部講師によると、保護者への啓発が必要との指摘を受けた。町民会議他いろいろな組織で取り組みます。

# こんなことが決まりました

議案	案	提案理由等	結果
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて	地方自治法の規定により、専決処分したので、これを報告し、承認を求めるもの。 (歳入歳出の総額に868万2千円を追加し、総額を67億6644万9千円とするもの。)	承認
議案第43号	鹿児島市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の共同処理する事務の変更並びに同組合規約の変更について	肝付東部衛生処理組合の解散等による鹿児島市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の共同処理する事務の一部に係る組合市町村の変更に伴い、同組合規約を変更することについて協議したいので、議会の議決を求めるもの。	原案可決
議案第44号	湧水町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に基づき、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律が制定されたことに伴い、本町職員においてもこれに準じて所要の改正をしようとするもの。	原案可決
議案第45号	湧水町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	健康保険法施行令の一部が改正され、産科医療補償制度における掛金が減額されたが、従来の出産育児一時金の総額42万円を今後も維持させたいため、所要の改正をしようとするもの。	原案可決
議案第46号	湧水町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	子ども・子育て支援法の施行により、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準について地域の実情に応じて条例で定める必要があるため、本条例を制定しようとするもの。	原案可決
議案第47号	湧水町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律において児童福祉法の一部が改正され、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準について地域の実情に応じて条例で定める必要があるため、本条例を制定しようとするもの。	原案可決
議案第48号	湧水町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律において児童福祉法の一部が改正され、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準について地域の実情に応じて条例で定める必要があるため、本条例を制定しようとするもの。	原案可決
議案第49号	湧水町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法令の整備に関する法律において介護保険法の一部が改正され、地域包括支援センターの人員及び運営等に係る基準について地域の実情に応じて定める必要があるため、本条例を制定しようとするもの。	原案可決
議案第50号	湧水町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法令の整備に関する法律において介護保険法の一部が改正され、指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準について地域の実情に応じて定める必要があるため、本条例を制定しようとするもの。	原案可決
議案第51号	平成26年度湧水町一般会計補正予算(第6号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ565万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ67億7210万5千円とするもの。	原案可決
議案第52号	平成26年度湧水町一般会計補正予算(第7号)	P2,3参照	原案可決
議案第53号	平成26年度湧水町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5745万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ16億8134万1千円とするもの。	原案可決
議案第54号	平成26年度湧水町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4534万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ13億7223万1千円とするもの。	原案可決
議案第55号	平成26年度湧水町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ38万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億4418万9千円とするもの。	原案可決
議案第56号	平成26年度湧水町水道事業会計補正予算(第2号)	人事院勧告に伴う職員給料の調整と落雷に伴う機器修繕費の追加が主なもの。	原案可決
議案第57号	平成26年度湧水町一般会計補正予算(第8号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ60万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ70億6815万円とするもの。	原案可決

本町議会では、平成25年6月より議会改革調査特別委員会を設置し、下記の基本理念を基に、住民に開かれた議会を目指し活動を行っています。

## 《湧水町議会改革調査特別委員会の基本理念》

分権型社会においては、地方公共団体の自主性・自立性・透明性の確保が強く求められる中、二代表制の一翼を担う議会が果たすべき役割がますます重要になってきています。

このことから、法整備による議会の権限や機能の強化が不可欠であると同時に、議会自らも、政策立案・審議能力の向上や、住民との関係強化など、山積する課題に取り組んでいかねばなりません。

全国多くの議会が、議会運営のあり方や議員研修、住民参加等の議会改革に取り組み、活性化を図っている昨今、湧水町議会においても、その必要性は否めません。

これから諸課題の解決に向けて、私ども議員は自らを見つめ直し、高めることがいかに重要であるかを自覚し、住民に身近な、信頼される議会、開かれた議会、「真の議会改革」を目指して、立ち止まることなく積極果敢に取り組み続けるものであります。

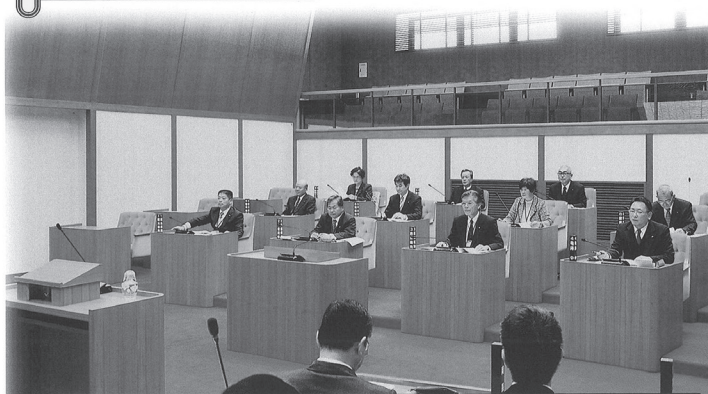
## 議会の傍聴にお越しく下さい

現在、議会改革の一つとして、平成26年第4回定例会から、多くの町民に議会の傍聴に来てほしいとの願いから、一般質問の日程を午前中3名までとし、チラシを作成する等の活動を行っています。今後も継続して、身近な議会になるように取り組んで参ります。

### 議会の傍聴に是非お越し下さい 議員から町長等に対して一般質問が行なわれます。

平成26年 第4回  
議会定例会  
【11/28～開会】

平成26年12月1日(月) 午前10時～ (3名)  
12月2日(火) 午前10時～ (3名)  
場 所：湧水町役場 吉松庁舎 3階 議会議事堂



※ 詳しい内容は、役場議会事務局まで問合せ下さい。  
電話 0995-75-2111 (内線 3301) (吉松庁舎内)

#### 【12月1日の質問者】

- ★ 池上 滝一 議員  
● 人口減少社会への対応策について 外2件
- ★ 吉永 義和 議員  
● 県立栗野工業高校跡地利用について 外1件

#### ★ 境田 公明 議員

- 小中学校の土曜日の授業について

#### 【12月2日の質問者】

- ★ 西牟田 徹也 議員  
● 町道等の整備について 外1件

#### ★ 宮里 廣昭 議員

- 町長の職務について

#### ★ 森山 マスミ 議員

- 学校教育について

# 議会の動き

10月	3日 金	・決算審査特別委員会(現地調査)
	6日 月	・県道103号線早期開通に関する要望会(環霧島会議)
	14日 火	・議会運営委員会
	15日 水	・県道103号線早期開通に関する要望会(環霧島会議)
	16日 木	・議員全員協議会 ・第3回定例会 最終本会議 ・広報編集委員会
	22日 水	・広報編集委員会
11月	28日 火	・京都府久御山町議会行政視察
	6日 木	・議会運営委員 ・議員全員協議会 ・市町村政研修会
	12日 水	・北海道東川町議会行政視察
	17日 月	・議会運営委員会
	26日 水	・議会運営委員会

11月	27日 木	・議員全員協議会
	28日 金	・第4回議会定例会 本会議 ・各常任委員会
12月	1日 月	・本会議 ・各常任委員会
	2日 火	・本会議 ・議員全員協議会 ・各常任委員会
	16日 火	・議会改革調査特別委員会小委員会
	17日 水	・議員全員協議会 ・第4回議会定例会 最終本会議 ・議会改革調査特別委員会 ・議会改革調査特別委員会小委員会 ・広報編集委員会
	24日 水	・伊佐北始良火葬場管理組合議会定例会 ・伊佐北始良環境管理組合議会臨時議会 ・大口地方卸売市場管理組合議会定例会 ・伊佐湧水消防組合議会定例会 ・議会改革調査特別委員会小委員会
	25日 木	・議会改革調査特別委員会 ・議会改革調査特別委員会小委員会

## 議会基本条例制定に向けて

議会改革調査特別委員会では、湧水町議会基本条例の制定に向けて、現在、協議・検討中です。



傍聴にお越しく下さい。

## 次の定例会は3月上旬予定

### 編集後記

インフルエンザが猛威を振るっている今日この頃ではありますが、皆様方におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

議会広報は、町民と議会を結ぶパイプ役として重要な役割を持っており、傍聴に来られない町民の方のために議会審議の内容をつぶさにしかるべきことが広報委員会の使命であると思っております。

心も新たにわかりやすい紙面づくりに努め、親しまれる「議会だより」の発行を目指して取り組んでおります。ご意見ご感想をお寄せ頂きますようお願い致します。

吉永 義和

#### 議会広報編集委員会

- 委員長 吉永 義和
- 副委員長 宮里 廣昭
- 委員 橋元 義嗣
- 同 松元 昭治
- 同 綾織 まち子
- 同 西牟田 徹也